まつやまの歳時記

夏 Summer

俳句甲子園

俳句文化を全国に発信していくことを目的とした高校生による俳句の全国大会。毎年8月19日（ハイク）前後の週末に開催される。高校生が5人1組のチームを編成し、俳諧の「句合（くあわせ）」を団体戦で行う。俳句の善し悪しだけでなく、その俳句に対する議論（ディベート）も審査のポイントとなる。

松山野球拳おどり

昭和41年に始まった松山野球拳おどり（旧松山まつり）は8月中旬に行われる。色とりどりの衣装を身にまとった踊り手たちが、リズムにあわせて「野球拳おどり」を演舞する。

春 Spring

松山春まつり

松山の春を象徴する祭り。「お城まつり」と「道後温泉まつり」とがある。「お城まつり」は松山城小天守閣の再建の決定を祝い、昭和42年から始められた。鎧や着物などの本格的な衣装を身につけた隊列が市内中心部を練り歩く大名武者行列のほか、市民参加による華麗なイベントが繰り広げられる。「道後温泉まつり」では、湯のまちらしい情緒が味わえると好評。

伊予の二見大注連縄張り替え（いよのふたみおおしめなわはりかえ）

源平の戦いのころ、河野通信が戦勝祈願として、夫婦岩（伊予の二見）に大注連縄を張り勝利をおさめたという故事にならって行われている。この大注連縄張り替えは、昭和32年（1957）に復活し、地域住民や消防団の手によって行われ、海上安全と五穀豊穣・大漁を祈願している。

冬 Winter

椿祭り

伊豫豆比古命神社で行われる、伊予路に春を呼ぶ祭。「椿さん」の名で親しまれ、市外からの参詣者も多く訪れる。初日の午前0時に大太鼓で開始を告げられてから、最終日の24時まで72時間昼夜を通して行われる。神社周辺の県道は全面交通が遮断され、約800店の露店が立ち並ぶ様は圧巻。

初子祭（はつわさん）

道後の冠山にある湯神社は、大国主命と少彦名命の2神をまつっている。初子祭は大国主命の窮地をネズミが救ったという故事に基づき、旧暦11月の初めの子（ね）の日に開催。「はつねさん」として親しまれている。古いお札やお飾りを焼く「神札焼上祭」や餅撒きが行われ、多数の参拝者で賑わう。

秋 Autumn

松山秋まつり

豊穣の喜びを込めて、みこし同士をぶつけ合う鉢合わせなど各地域でさまざまな祭事が行われる。「モテコイ、モテコイ」と担ぎ手たちの威勢の良いかけ声が松山の街に響く。勝岡八幡神社の参道を疾走する「一体走り」（市指定無形民俗文化財）や道後温泉駅前での鉢合わせなど、市内各所で賑やかに繰り広げられる。

北条秋祭り・みこし落とし

10月上旬に國津比古命神社で行われるあばれみこし。半鐘と太鼓を多用するため「火事（ひのことの）祭り」と呼ばれる。祭りのしめくくりに、石段の上からみとしを投げ落として壊し、出てきた御神体を若者が奪い合う様子は壮観。日本三大荒神輿にも数えられている。

祭り・イベントカレンダー

※日程などは、都合により変更になることがあります

4月
- ◎松山春まつり「お城まつり」

5月
- ◎北条鹿島まつり
- ◎伊予の二見大注連縄張り替え

7月
- ◎風早海まつり（花火大会）

8月
- ◎松山港まつり・三津浜花火大会
- ◎松山野球拳おどり
- ◎「俳句甲子園」全国大会
- ◎道後村まつり
- ◎トライアスロン中島大会

9月
- ◎へちま忌（正岡子規命日）
- ◎子規顕彰全国俳句大会

10月
- ◎松山城観月祭
- ◎松山秋まつり
- みこし鉢合わせ、一体走り（和気地区）
- 船踊り（興居島）
- だんじり・みこし落とし（北条地区）
- やっこ振り（中島地区）
- ◎市民文化祭
- ◎子規顕彰全国短歌大会
- ◎ワンダーランド河野氏まつり

1月
- ◎はたちの集い
- ◎初子祭

2月
- ◎椿祭り

3月
- ◎松山春まつり「道後温泉まつり」

その他のエリア

（注）開館日時は、イベント開催や祝日等により変更される場合がありますので、各施設までお問い合わせください。
なお、料金につきましても同様にお問い合わせください。

日尾八幡神社（ひおはちまんじんじゃ）

地図 P34E4

地域を愛し、地域に愛された書家三輪田米山の誕生地

文政4年（1821）、米山は日尾八幡神社の神官三輪田清敏の長男として誕生。本名は常貞。後に神主となる。米山の書は、神社の注連石や幟など松山の各所にのこされており、「坂の上の雲」フィールドミュージアムの貴重な文化資源となっている。

DATA ㊟松山市南久米町2 ☎089-975-1744 交伊予鉄道久米駅から徒歩8分

のぼーるみゅーじあむ の・ボールミュージアム

地図 P34C5

プロ・アマチュア野球の歴史をひもとく

坊っちゃんスタジアム内の野球歴史資料館。バッター姿の等身大正岡子規像がある。ベースボールが好きで、通称「のぼる」にちなみ雅号を「野球（のぼーる）」としたこともある子規は、ベースボールにちなんだ俳句や短歌を多く詠んだ。「打者」「走者」「直球」「飛球」といった野球用語を翻訳したのも子規である。その貢献が認められ、没後100年にあたる平成14年、野球殿堂入りを果たした。

DATA ㊟松山市市坪西町625-1 ☎089-965-3000 営9～17時 休月曜日から金曜日（ただし祝日は除く）、12月29日から翌年1月3日（プロ野球開催日は有料になる場合あり） P松山中央公園駐車場利用 交JR市坪駅から徒歩1分

豊島家住宅（とよしまけじゅうたく）

地図 P34D5

幕府お休み所の大役を仰せつかった名家の屋敷

豊島家は、もともと河野家に仕えた武家で、現在地に分家してからは大庄屋まで務めた家柄。複雑に構成された屋根の様子から「井門の八棟造り」とも呼ばれる大邸宅は、国指定重要文化財。幕府の巡見使や藩主、高僧しか使えない座敷部分の、細部にまで気配りされた意匠は見事。

DATA ㊟松山市井門町421-1 交松山ICから車ですぐ

加藤拓川の墓（相向寺）（かとうたくせんのはか（そうこうじ））

地図 P34C4

誠実無私で人情味あふれる国際人

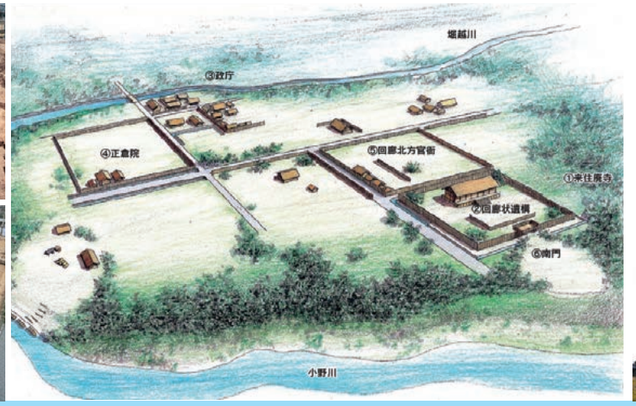
相向寺には、子規の叔父・加藤拓川（本名・恒忠）の墓がある。拓川は松山市長も務めた政治家。市長時代に城山を市民公園にするなど、地元のために力を尽くした。墓碑には遺言で「拓川居士骨」とだけある。境内には明治28年に子規が詠んだ「真宗の伽藍いかめし稲の花」の句碑が立つ。

DATA ㊟松山市拓川町7-6 ☎089-921-3925 交伊予鉄道石手川公園駅から徒歩5分 Pあり

久米官衙遺跡群（くめかんがいせきぐん）

地図 P34E5

古代の役所跡

久米官衙遺跡群は、7世紀前半から造営された役所とその関連施設で、四国唯一の国指定官衙関連史跡。政務を行った政庁や税を納めた正倉院、回廊状遺構などがこれまでに確認されている。木々の立ち並ぶ高まりは、7世紀に造営された来住廃寺の金堂基壇跡で、県内最古の古代寺院の一つ。「久米評」と線刻された須恵器をはじめとする出土遺物は松山市考古館で展示されている。

DATA ㊟松山市来住町 ☎089-948-6891（松山市教育委員会文化財課） 交伊予鉄道久米駅から徒歩10分